

沼田城 沼田市西倉内町 594

1500年代に築城された沼田城。戦国時代には、北条氏や真田氏など戦国大名間の争奪が激しかった城として知られています。現在は園内に外曲輪や本丸・二の丸・三の丸などが一部残され、「真田三名城」(①沼田城、②名胡桃城跡、③岩櫃城跡)のひとつとされていますが、当時の面影はなく公園として利用されています。この城は倉内城とも呼ばれ関東へ至る要衝の地にあることから越後の上杉氏や小田原の後北条氏、甲斐の武田氏などの戦国大名によりめまぐるしい争奪が繰り返られることになりました。天正8年(1580)武田勝頼の命により沼田に進出した真田昌幸は沼田城を攻略し、さらに翌9年には沼田城の奪還に來攻した沼田平八郎景義を謀殺して沼田氏を滅亡させました。また、小松姫(稲姫)は徳川四天王の本多忠勝の娘であり真田昌幸の長男・真田信幸の妻で知略のある姫君であった。この地の領有を主張する後北条氏とこれに応じない真田氏との間に沼田城をめぐる攻防が続きましたが、天正18年(1590)に後北条方が真田方の名胡桃城を攻略したことが契機となり、後北条氏は豊臣秀吉の小田原城攻めにより滅亡しました。(説明版、旅コト資料)



真田信幸の説明版



小松姫の説明版

沼田城関係年表

年	出来事
1500年代	沼田城の築城
1580年	武田勝頼の命により、真田昌幸が沼田城を攻略
1581年	翌9年、沼田城の奪還に來攻した沼田平八郎景義を謀殺して沼田氏を滅亡
1590年	後北条方が真田方の名胡桃城を攻略
1590年	後北条氏は豊臣秀吉の小田原城攻めにより滅亡

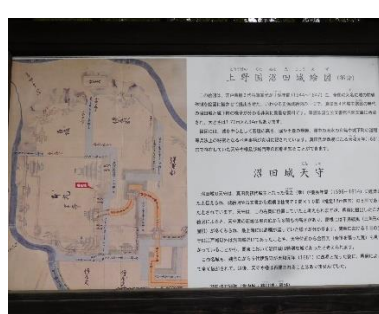
同城の年表説明版



鐘楼



数少ない同城の名残の石垣



説明版



信幸と小松姫の銅像

